



ADRC Highlights Vol.132

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

1 February 2006

▶ 国際防災復興協カシンポジウム開催、IRP の活動に熱い期待

国際防災復興協力機構(IRP)事務局ならびにアジア防災センター(ADRC)は、2006年1月19日、「国際防災復興協カシンポジウム～大災害からの復興に際して学び・考えること～」を神戸国際会議場(神戸市中央区)にて開催しました。これは、国連開発計画(UNDP)、国際防災戦略事務局(UN/ISDR)、国連人道問題調整事務所(UN/OCHA)神戸、内閣府、兵庫県との共催により行われたもので、国内はもとより海外 20 カ国から防災関係者や復興に関心のある方など 182 名が参加しました。このシンポジウムでは、基調講演、ビデオ会議、復興の現状や活動報告、パネルディスカッションを行いました。

基調講演は、英国クランフィールド大学教授 イアン・デイビス氏が「災害復興から学ぶこと」と題して行い、復興に際しての注意点・問題点として、性急な復興政策や大量の救援物資提供が「よりよい復興」の妨げとなると指摘しました。



IRP 事務局の村田復興専門官は、IRP が昨年 5 月の発足以来実施してきた、タイ・インドネシアの津波被災地やパキスタンの地震被災地での復興に関する活動やそこで得られた教訓について発表しました。

IRP 事務局事業総括官アール・シンハ氏がコーディネーターを務めたパネルディスカッションでは、被災地の安全・安心な社会づくりに向け、災害復興をどう捉えてどう活かしていくのかなどのテーマについて、活発な議論が交わされました。IRP による復興優良事例の収集・整理の重要性も確認されました。各パネリストをはじめ UN/ISDR プリセーニョ事務局長から、今後ますます国際的な復興協力活動の重要性が増してくることからも、IRP のこれからの活動に期待したいという意見が出されました。



また、このシンポジウムの冒頭で、兵庫県の井戸知事とスリランカ政府津波被害再建支援センターのジャーザ理事長による、スマトラ島沖大地震兵庫県義援金による学校再建プロジェクトの協定書の調印式が行われました。

なお、当日のシンポジウムの模様は、「117 ブロードバンド TV」のご協力により、IRP のホームページ (<http://recoveryplatform.org>) にてインターネット放送をご覧いただけます。シンポジウムならびに IRP についてのお問合せは、IRP 事務局の村田復興専門官 (murata@recoveryplatform.org) までお願いします。

▶ デンマーク政府・UN/ISDR 共催によるワークショップに ADRC が参加、発表

インド洋などの沿岸地域におけるコミュニティの水災害に対する防災力強化に関するワークショップがデンマークの首都コペンハーゲンにおいて、2005年11月16日から18日にかけて開催されました。当ワークショップはデンマーク外務省と国際防災戦略事務局(UN/ISDR)の共催によるもので、政府代表やコミュニティレベルの NGO、人道問題・防災・開発の専門家などが参加しました。参加対象国は、2004年のインド洋津波被災国であるバングラデシュ、インド、インドネシア、マレーシア、スリランカ、タイの 6 カ国でした。当ワークショップはまた、2005年1月神戸で開催の国連防災世界会議で採択された「兵庫行動枠組(2005-2015)」の推進を促すことを目的として開かれたものでもありました。

当センターからは主任研究員の栗田が招聘され、全体会合の場で、同氏が中心となって実施したスリランカとモルディブでの「津波リスク意識調査」など当センターの津波関連のプロジェクトについて報告しました。この報告の中で、タウンウォッチングがコミュニティにおける住民の意識高揚に有効な手法であることを紹介しました。また、アンケート調査の結果に基づく結論として青少年への防災教育が重要であることを指摘しました。



ワーキング・グループのセッションでは、参加者が 4 つのグループに分かれて、合わせて 23 の提言をまとめました。ドット・エクササイズ (参加者による投票) による順位付けの結果、「学校教育課程や知識普及、特に地域レベルの知識を含むあらゆるレベルの教育および住民の意識高揚推進活動に防災を取り入れるべきである」という提言が最も重要とされました。

なお、この他の提言などの詳細は、ワークショップ事務局のウェブサイト (<http://www.dhi.dk/resilience>) でご覧になれます。当センターの発表に関するお問合せは、栗田 (kurita@adrc.or.jp) までお願いします。

なお、この他の提言などの詳細は、ワークショップ事務局のウェブサイト (<http://www.dhi.dk/resilience>) でご覧になれます。当センターの発表に関するお問合せは、栗田 (kurita@adrc.or.jp) までお願いします。

▶ アジア最新災害情報

□ ロシアの寒波

ロシアではほぼ全土が厳しい寒波に見舞われ、モスクワ市内では 2006 年 1 月 17 日以降、少なくとも 23 人の死者が出ています (タス通信、2006 年 1 月 22 日)。詳細は、www.adrc.or.jp をご覧ください (GLIDE: CW-2006-000006-RUS)。